リーディングDXスクール事業 【実践事例】

広島市立牛田小学校

【取組内容】 体育科～目標記録や振り返りの共有～

５０m走	目標タイム ※５０mを打ちこむと表示されます。この列の数値は入力しないでください。	最高記録	振り返り①
			す。
8.79	10.29	10	今回の練習では、ハードルの歩幅をやりました。6.5メートルが一番やりやすかったです。でも、まだ、上手く歩幅を合わせられていないので気をつけたいです。飛ぶタイミングが大事なので気をつけていきたいです。また、頭の位置が大事ということを知ったのでしっかりと意識してやっていきたいです。大事なところをしっかり意識して記録をしっかり縮めたいです。
8.45	9.95	10. 28	ハードル走で記録を伸ばすためには歩幅を揃えるのがポイントだと思いました。なぜなら、歩幅をそろえたら跳ぶタイミングがわかって、速く走ることに集中できるからです。でも、まだ僕は歩幅をそろえるのができていないので、早く走ることより走ることに集中して歩幅が絶対揃うようにしたいと思いました。また、僕は結構跳ぶ時に、高くなっている気がするので、次は子ごを意識して練

D	E	F	G	H	I
ブランク二十秒	ブリッジ	三点倒立	補助倒立チャレンジ	二十回でたてふせ	ダンス
▼	★ ▼	△ ▼	★ ▼	★ ▼	○ ▼
▼	★ ▼	△ ▼	★ ▼	○ ▼	★ ▼
▼	★ ▼	△ ▼	○ ▼	★ ▼	★ ▼
▼	★ ▼	○ ▼	△ ▼	○ ▼	★ ▼
▼	▼	▼	▼		▼
▼	★ ▼	△ ▼	○ ▼	★ ▼	★ ▼
▼	★ ▼	△ ▼	○ ▼	○ ▼	★ ▼
▼	★ ▼	△ ▼	○ ▼	○ ▼	★ ▼
▼	★ ▼	△ ▼	△ ▼	○ ▼	★ ▼
▼	★ ▼	△ ▼	★ ▼	★ ▼	★ ▼
▼	★ ▼	★ ▼	★ ▼	★ ▼	★ ▼
▼	▼	▼	▼	▼	▼
▼	▼	▼	▼	▼	▼

個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指し、体育科では目標記録や振り返りの児童同士の共有を図りました。児童同士が目標記録やつまずきを共有することにより、お互いの関わり合いを促進しました。また、児童の振り返りを即座に教員が把握することにより、児童の様子や困り感をしっかりと見取り、適切な個別の声掛けを心掛けました。また、ハードル走や走り高跳びなどの単元では、シート上に児童の記録の伸びが分かるようなグラフを可視化し、意欲向上に努めました。

本時の内容についてだけではなく、体育科に関する家庭学習においてもタブレットを活用しました。運動会に向けた取組では、児童の必要感に応じた課題を配信しました。お互いの頑張りを共有し合うことで、共に目標に向かって努力したり、学び合ったりする姿が児童から見られました。